

成人男性におけるスポーツを継続することが労働意欲に与える影響

福島 彰人 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教諭 新井 博

キーワード： 労働意欲 スポーツ活動

1. 緒言

就職氷河期を超える超氷河期とまで言われる今日、就職先が決まらずに、就職浪人や、フリーターが確かに溢れている。それと同時に若い世代の転職率が多いのも事実である。一度会社に勤めたにも関わらず、入社して半年で依願退社する新卒者が約4割弱を占めるという事実を受けて、私は、労働に対する意欲やモチベーションが低いのではないかと実感した。幼い頃からスポーツに関わってきたことは、「スポーツは意欲やモチベーションを向上させてくれる」ということだ。そこで、成人男性の労働意欲と、私自身これまでに携わってきたスポーツとの関連性があるのではないかと考え、本研究で紐解いていく。本研究では、現在までスポーツ活動を継続することにより、労働意欲にどのような影響を及ぼしているのかを調査し、スポーツ活動と労働意欲の関わりを検討することを目的とする。

2. 研究方法

アンケート調査の実施

本研究の調査対象者は、S スポーツ連盟に所属している社会人サッカーチームの「スポーツ活動を継続して行っている」者と、その他の「スポーツ活動を継続して行っていない」者に、スポーツと労働意欲に関するアンケート調査を実施する。また、「スポーツ活動を現在行っていない者」にも同様のアンケート調査を実施する。(各 30 人)

3. 結果と考察

仕事に対する意識の項目から見ると、スポ

ーツ活動を継続して行っている者の方が、そうでない者と比較して、すべての平均値が上回る結果になった。その要因として、スポーツ活動現場での経験や環境、道具の扱い、人間関係などが挙げられる。それらの要因は、スポーツ活動を継続して行っている者の、労働意欲に対する高い意識へと繋がっている、という結果になった。

4. まとめ

本研究では、アンケート結果より、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップなどのあらゆる面から、スポーツ活動を継続して行っている人の方が、そうでない人よりも高い意識を持っており、スポーツ活動を継続して行うことが、労働意欲に大きな影響を与えるということが分かった。今後は、スポーツ活動を継続することの必要性を、示していければよいと考える。

5. 参考文献

- ・北尾吉孝 (2007) 何のために働くのか、致知出版社
- ・小島貴子 (2007) 働く意味, 幻冬舎新書
- ・やる気、意欲、動機づけの心理学
<http://www.n-seiryu.ac.jp/~usui/yaruki/index.html>
- ・給料がアップすればやる気は上がるか
<http://allabout.co.jp/gm/gc/301573/>